



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



●7月3日 燕の夏野菜はうまい！ 燕東小学校

燕地区園芸協会の皆さんから寄付いただいた桃太郎トマトが市内小中学校の給食で提供されました。余ったトマトのじゃんけん争奪戦が起きるほどの大人気！



●7月5日 一流選手から学ぶ スポーツランド燕

県主催の「ゆめづくりスポーツ教室」に小・中学生の男女99人が参加。プロバスケットボール選手から直接指導を受けた子どもたちの目はキラキラでした。



●7月10日 ものづくりの歴史を体感しました 燕市産業史料館

県立新津工業高校・工業科の生徒たちが産業史料館に来館。燕の誇る職人たちの技術を学び取ろうと、展示一つひとつを食い入るように見つめる姿が印象的でした。



●7月15日 新型コロナウイルス緊急対策でお楽しみおこづかい 吉田小学校

各種イベント中止によるストレス軽減のため、市内の3歳児から中学生までを対象にQUOカード3,000円分「燕JOYキッズ商品券」を配布。さて、何に使おう？



●6月24日 体験水路で生き物観察 大河津分水公園

分水小2年生が生き物観察に挑戦。最初はおそろおそろ水に入った子どもたちですが、慣れたら積極的に生き物を探しました。小エビやザリガニが採れましたよ！



●6月26日 シェイクアウトで地震に備える 島上小学校

市内小中学校で、地震発生時の安全確保を目的とするシェイクアウト訓練が行われました。低く、頭を守り、動かない。3つのポイントを意識して取り組みました。



●6月27日 絵本の世界へようこそ！ 分水図書館

分水公民館前の大きな木の下で、野外読み聞かせイベント「青空おはなしぶんぶん」を開催。感染症対策を実施しながら、久しぶりの読書イベントを楽しみました。



●7月3日 田んぼアート 子どもたちの希望の虹 吉田ふれあい広場臨水田

今年の絵柄である虹にちなみ、吉田北保育園の園児47人が「きぼうのにじ」を描きました。子どもたちの力をぜひご覧ください！ 稲も見頃を迎えています。

知っていれば得した気分になれる。そんな話題を集めたコーナーです。

Cooking

野菜いただきます！



燕市食生活改善推進委員 保健センター ☎0256-93-5461

ピーマンの塩こんぶ炒め

ピーマン	…5個
塩こんぶ	…10g
ごま油	…少々
白ごま	…少々

- 千切りにしたピーマンをごま油で炒め、塩こんぶを混ぜる
- 皿に盛り白ごまをふる

いただきます！



桐生 夏芽ちゃん

夏休みなどの休日を利用して、買い物、収穫、料理、配膳、後片付けなど、できることから食に関する体験を子どもたちと楽しみましょう。

毎月19日は食育の日。つばめ食育だよりを配信しています。最新号はこちら！▶▶▶▶



ごみの量(令和2年6月) 生活環境課 環境政策係 ☎0256-77-8167

ごみの種類	令和2年6月		令和元年6月		比較増減
	収集量	1人1日	収集量	1人1日	
可燃	1,402 t	592 g	1,264 t	531 g	61 g ↑
不燃	71 t	30 g	82 t	35 g	- 5 g ↓
粗大	57 t	24 g	49 t	20 g	4 g ↑
資源	205 t	86 g	210 t	88 g	- 2 g ↓
合計	1,735 t	732 g	1,605 t	674 g	58 g ↑

令和2年4月～令和2年6月 資源ごみの売上(弥彦村舎) 540トン 658万円(ごみ処理費に活用しています)

Culture

●今月の一品
高橋竹之介の詩幅
越北の鴻都 長善館企画展 - 鈴木文臺と周辺の人々 -
長善館史料館 ☎0256-93-5400 (月曜日休館)
■入館料 大人100円 高校生以下50円 ※団体割引あり
8月30日(日)まで市民は入館料無料



長善館の門下生の一人、高橋竹之介の詩幅を紹介します。
積薪と累卵と
危機乱れて麻の如し
今や治安策
人の長沙を吊する無し
史の百首の一 賈生を詠ず
竹介逸人

高橋竹之介は1842年(天保13年)長岡市杉之森に生まれました。幼少のころから学問を好み、長善館に入塾して鈴木文臺に師事。その後、故郷を離れ、学問を深めて尊王攘夷を志します。北越戊辰戦争のときは、新政府軍の嚮導を命じられ、居之隊の一員として各地を転戦して功をためました。明治維新後は、現

在の長岡市で「誠意塾」を開設して600人の子弟を教育し、世に送り出しました。この漢詩からは、平和で安定した国家社会を築くには、しっかりとした政策と実践躬行が重要である、そのためには、先人の教えに学ぶとともに、学問に励むことが大切だと説く作者の真摯な態度がうかがわれます。
■企画展は8月30日(日)まで
※嚮導：軍を先導する役割。
※実践躬行：自分で実際に行動すること。

地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.29

初めまして、5月から地域おこし協力隊として空き家バンク推進業務を担当しています、芦川 紘子です！
東京都から移住して来ました。前職はトライアスロンコーチとして働いており、私自身も競技者です。また、仲間の輪を広げたいと思い、手話でトライアスロンのレッスンをできるように勉強中です。
私にとって燕市は「金属洋食器」「背脂ラーメン」というイメージが強く、メタル丼で背脂ラーメンが出てきたときは名物コラボだ…！と感動しました。ですが、街歩きをして、もっと発信すべき魅力的なヒト・モノ・コトがたくさんあると感じました。まだまだ知らないことばかりですが、地域の皆さんに教えていただきながら燕市に貢献できるよう日々精進します！
どうぞ、よろしくお願いします。

燕市地域おこし協力隊 芦川 紘子